



桜に囲まれお茶を味わう

4月14日、水城公園周辺を会場に行田春まつりが開催されました。
水城公園市民広場では行田大茶会と銘打ち、行田市茶道会が野だてを行い、参加者は桜に囲まれながら、振る舞われた和菓子とお茶を味わっていました。
また、恒例の春の植木市では、鉢植えや切り花などが水城公園通りに並び、訪れた人たちは足を止めて思い思いの植木などを買い求めていました。



適切な応急手当を学ぶ

3月26日、消防本部で普通救命講習会が行われました。
この講習会は応急手当の普及活動の推進を目的にAEDの使い方を含む心肺蘇生や気道異物除去などの応急手当を身につけてもらおうと実施されているもので、市ではこれまで600回以上開催しています。この日、受講したのは市内に車庫を有する秩父鉄道観光バス株式会社の皆さん。代表取締役の赤岩一男さんをはじめ総勢16人が3時間の講習に真剣に取り組み、大切な命を守るための適切な応急手当を学びました。



「たびくる」トイレマップ編が完成

3月16日、「みらい」文化ホールで行田市障がい者ネットワークハッピー行田による「行田市観光バリアフリーマップ『たびくる』トイレマップ編」の完成報告会が行われました。
これは同団体が市中心部、観光地や店舗などのトイレを実地調査し、市民や観光客向けにその情報を分かりやすくまとめたもので、このたび市に2,000部が寄贈されました。出来上がったマップを活用することで、外出に不安をもつ方でも安心して観光や買い物などができるようになることが期待されます。



自転車や徒歩で巡る春の行田

3月23日、行田市自治会連合会主催の「行田ふれあいポタリング&ウォーキング2019」が行われました。
ポタリング30キロメートルコースとウォーキング10キロメートルコースに加え、今回から気軽に参加してもらおうとママチャリ15キロメートルコースが新たに設けられました。行田市バスターミナルを出発した277人の参加者は、古代蓮の里やさきたま古墳公園、ヴェールカフェなど行田の名所を巡り、春の訪れを感じさせる景色や風情を満喫していました。



新潟県五泉市と「花の交流」

3月27日、新潟県五泉市の伊藤市長が市役所を訪れ、本市と「花の交流」を行いました。
この日は、本市の古代蓮の蓮根と、五泉市の穂咲彼岸八重桜の苗木を交換しました。今回贈られた穂咲彼岸八重桜は希少な品種で、多くの方に楽しんでもらうため古代蓮の里に植樹されました。花を通じて、今後さまざまな分野で両市の交流が図られることが望まれます。



古代蓮の里さかな釣り大会

3月24日、古代蓮の里釣堀で「古代蓮の里さかな釣り大会」が初めて開催されました。
釣ったフナやコイなど魚の総数で順位を競うこの大会には、親子連れら13組が参加。スタートの合図とともに、一斉に釣り糸を垂らしました。参加者は魚がかかるのを気長に待ちながら、持参した弁当を食べるなど家族だんらんの時間を楽しんでいるようでした。

